

平成 29 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：大分県

市町村名：姫島村

協定締結集落名：姫島漁業集落

交付金額合計：18,038千円

協定参加世帯数：130世帯、130人（うち漁業世帯130世帯、130人）

2. 協定締結の経緯

姫島村の周辺海域は、豊富な漁業資源に恵まれた好漁場で、村内の経済は漁業に大きく依存している。古くから、独自の「漁業期節定め」による資源管理を実施してきたが、資源の減少と魚価の低迷に加え燃料の高騰など多くの課題を抱えており、このままでは姫島の漁業は衰退してしまう懸念があるため、地域漁業を活性化させ、資源の増加、漁業生産量の増加を図るため集落協定を締結し、漁業再生活動に取り組むことにした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

近年、水産資源の減少により漁獲量の減少が続いているため、種苗放流により資源の維持、増大を図った。クルマエビは姫島を代表する水産物であるとともに、放流年度での漁獲が期待できることから、特に種苗放流に力を入れている。なお、他の放流種苗は回遊性があまりなく姫島地先に定着するものを選択した。

活動内容		放流数(尾)	取組人数	経費(円)
種苗放流	クルマエビ	2,000,000	86	15,824,000
	ヒラメ	2,543	1	346,000
	アカウニ	100,000	9	1,296,000
	カサゴ	9,994	5	572,000
計		2,112,537	101	18,038,000

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

・低、未利用資源の活用

子持ちタコ壺放流により資源の維持、増大を図った。

魚種	数量(個)	取組人数	経費(円)
子持ちタコ壺	100	7	200,000

・キジハタ、オニオコゼの重量制限及び、瀬戸内水研、漁協、村の共同研究による資源管理強化

③事業実施に関する話し合い

実施日	内容
8月31日	事業計画の検討等

○取り組み状況写真



クルマエビ種苗放流



アカウニ種苗放流



ヒラメ種苗放流



カサゴ種苗放流



子持ちタコ壺再放流



コンブ養殖現地確認



キジハタ、オニオコゼ資源管理強化

4. 取組の成果

種苗放流等により資源の増大及び資源管理型漁業の推進が図られ、漁業者の資源管理に対する意識の向上も図られた。数年後には漁獲サイズとなり漁獲量の増加が期待される。また、キジハタ・オニオコゼについても増加傾向にあり、事業の効果が認められる。